【Ｒ６年度】重点目標の取組・概要（ICTを活用した行政DXの推進及び行政手続きのICT化の促進（ペーパーレス会議システムの運用）[ネットワークシステム運用事業]）

担当課(内線)	IT推進課　長江(内線2364)	重点目標の方向性	未来志向の都市経営
重点目標	都市課題を解決する仕組みづくりの実現	行政の役割	市及び公営企業の経営の効率性を確保する

現状と課題

・各種会議を開催するにあたり、資料の印刷製本費やＰＰＰ用紙等の消耗品費がかかる、印刷物の保存場所が必要となる、印刷等に人手が必要となるなどの課題がある。
・社会的にもＳＤＧｓが掲げられ環境への配慮が求められている。
・総務省から令和３年７月に通知のあった自治体ＤＸ全体手順書においても、業務プロセスのデジタル化としてペーパーレス化が求められている。

Ｒ６年度の事業費（内訳）

・システム使用料　52台分　613千円（612,480円）
令和５年度からの継続（職員用）
４台特別職（Pro）、48台職員

課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）

【中期的(4～5年後)にめざす成果】
・短期的にはペーパーレス会議の浸透を図り、中期的には開催件数の増加を図り紙資料の減少や会議準備の負担軽減を図る。

【成果に向けての各年度の進め方】
（Ｒ６）引き続き、ペーパーレスでの会議開催の増加を図るため、利用を職員に促していく。また、利用しやすいような運用を検討していく。
（Ｒ７以降）引き続き、ペーパーレスでの会議開催の増加を図る。

【Ｒ７年度の取組内容（期間・対象者・手法など）】
職員に対し利用を促す。通知文書や庁内掲示板にて、開催された会議を紹介するなどによる。
・（R4)11月の部長会から利用開始
・利用可能場所：第一、二委員会室、市長公室、特別職、議会等
・利用可能者：職員（GW利用者）
・対象となる会議：部長会議、政策調整・決定会議、総合教育会議、不動産評価委員会、議案説明会、都市計画審議会、MM委員会、教育委員会、教育委員会部課長会議等

Ｒ７年度以降の想定事業費（ランニング経費）

（Ｒ６）システム使用料　613千円（612,480円）
（Ｒ７）システム使用料　613千円（612,480円）
（Ｒ８）システム使用料　613千円（612,480円）

取組の進捗・成果を測る指標

ペーパーレス会議の開催件数（件/年）
・用紙の削減量について→電子決裁導入の影響等、それぞれの施策の適用前後での効果検証を実施検討

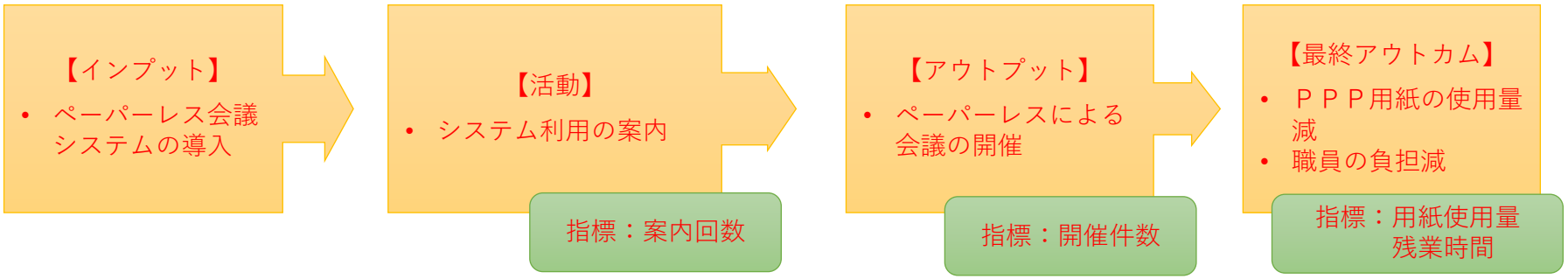
成果・指標が未達成の場合の取扱い

※必ず縮小・廃止時期を記載すること

（Ｒ６）前年度を踏まえて改善
（Ｒ７）前年度を踏まえて改善
（Ｒ８）前年度を踏まえて改善
（Ｒ９）廃止
・使用が広がらなかった場合は、廃止
・庁舎立替時のICT環境整備でのWi-Fi導入などとの調整

【Ｒ６年度】重点目標の取組・概要（ペーパーレス会議システムの運用[ネットワークシステム運用事業]）

ロジックモデル【事業立案時点】



その他（財源、他団体の状況、行政サービスとしての適正性について　など）

【財源】一般財源
【他団体の状況】大阪府を始め府内自治体でも数自治体導入されている。

【Ｒ６年度】重点目標の取組・評価シート①（ペーパーレス会議システムの運用[ネットワークシステム運用事業]）

■ 中期的にめざす成果に対する達成度

一部達成

- 短期的にはペーパーレス会議の浸透を図り、中期的には開催件数の増加を図り紙資料の減少や会議準備の負担軽減を図る。

■ Ｒ６年度における達成度（当初の実施予定に対する達成度）

一部達成

- 引き続き、ペーパーレスでの会議開催の増加を図るため、利用を職員に促していく。また、利用しやすいような運用を検討していく。

■ Ｒ６年度において実施・実現できたこと

- 会議開催が可能な場所を増やし、開催件数の増加につながった。

■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指　標　名	単位	基準値（年次）	目標値（年次）	Ｒ６年度実績値
○	ペーパーレス会議の開催件数	回			63
	用紙の削減量	枚			
○	システム利用の案内回数	回			2

【Ｒ６年度】重点目標の取組・評価シート②（ペーパーレス会議システムの運用[ネットワークシステム運用事業]）

■ Ｒ６年度において実施・実現できなかったこと

- 開催件数の大幅な増加

■ 課題分析

- 意図する会議にシステムが対応できなかった。（参加人数に対し台数が不足する等）

■ ロジックモデルの振り返り

- ペーパーレス会議システムの庁内周知は進んだと感じる。

■ 次年度以降の予定・改善内容

- 台数の効率的な稼働が可能な運用を検討する。